

# 公共事業に係る効果等について

## ほ場整備事業 兵庫東部地区

(農地整備課)

1

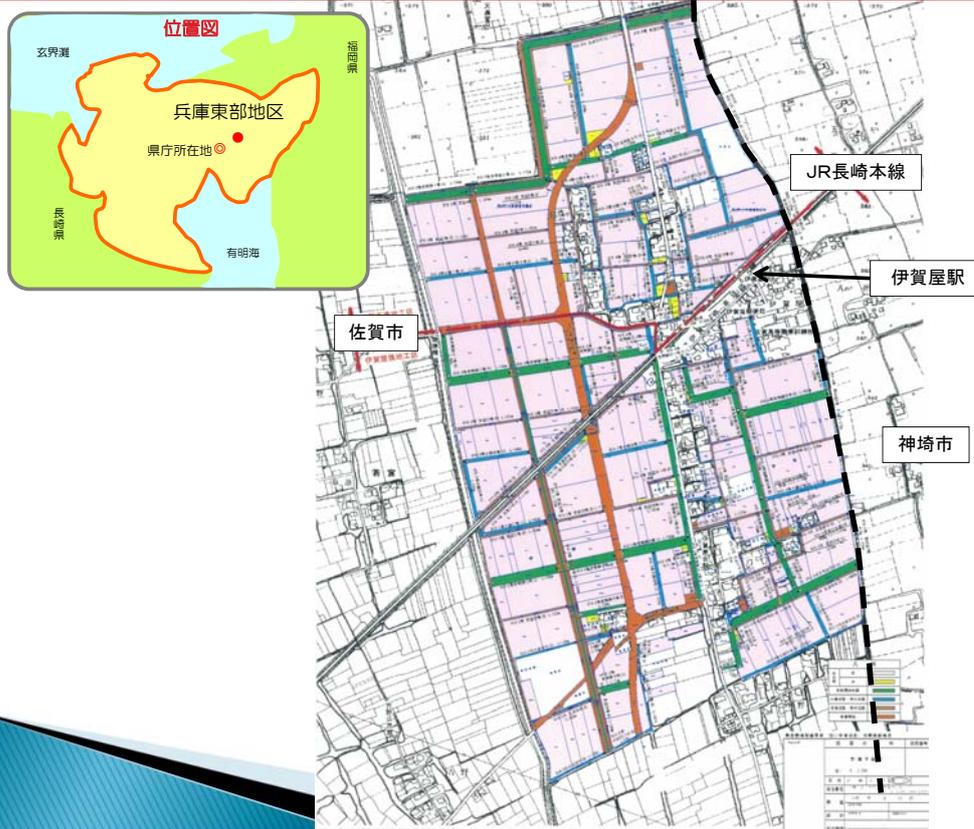
### ○事業概要

- 事業名 ほ場整備事業
- 地区名 兵庫東部地区
- 所在地 佐賀市兵庫町
- 工期 平成14年度～平成20年度
- 総事業費 1,110,270千円
- 事業内容 農地の区画整理 A=70.1ha
- 整備前状況

農地の区画が不整形であり、排水も悪く、農作業に多大な労力を費やすなど、計画的な作付けや担い手への農地集積といった効率的な農業経営の展開が阻害。

2

## ○事業位置



3

## ○事業の目的

- ・ 農地の大区画化、農道の整備、用水路・排水路、暗渠排水の整備などを総合的に実施することにより、大型機械の導入が可能となるとともに、排水条件を改善することで麦・大豆などの収量増となるなど、農業生産性の向上が図られる。
- ・ また、農地を担い手に集積し、規模拡大を図ることで、農業経営の安定が図られる。

4

# ○事業の内容

狭くて不整形な農地を広くて使いやすい形に整形し、併せて農道や水路の整備を行う。

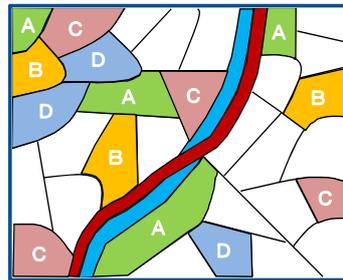


整備前イメージ

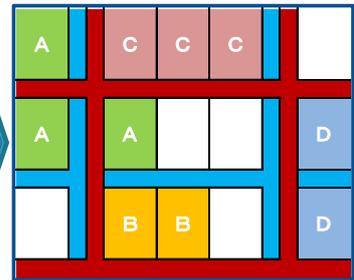


整備後イメージ

- ・分散している農地を集約することにより、効率的な農作業ができる。
- ・担い手への農地の集積が容易になる。



整備前



整備後

# ○整備前後の状況

整備前



整備後



# ○整備後状況写真

地区内に作付される水稲、大豆

H27年7月撮影



整備された農道・水路

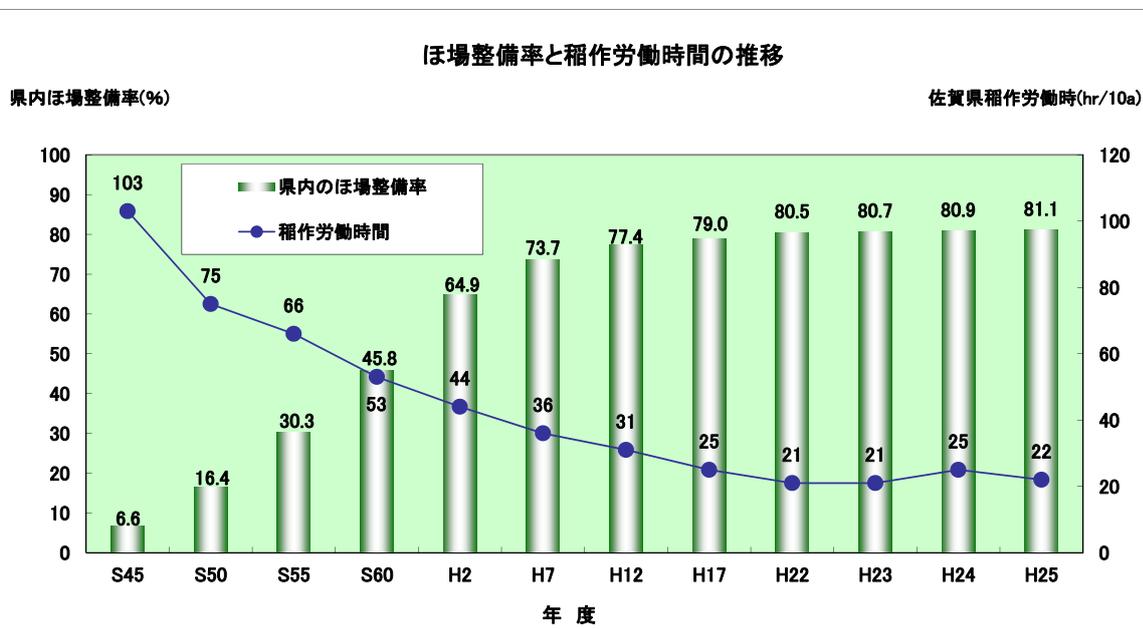
H27年7月撮影



# ○事業効果(1)

## 労働時間の短縮

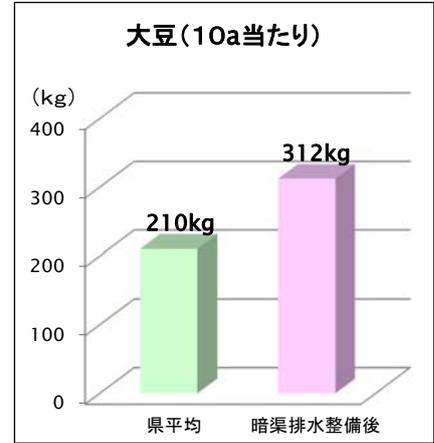
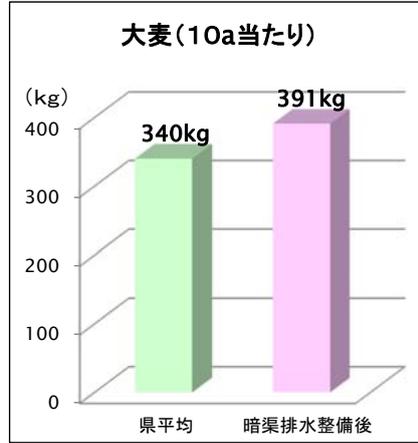
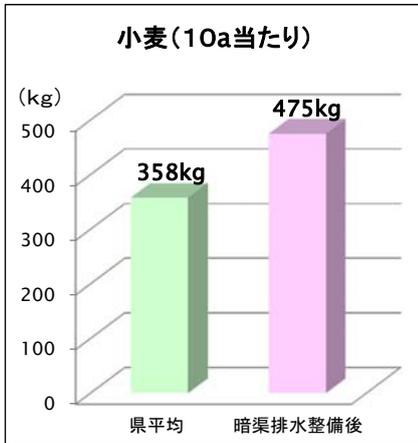
○ほ場整備の進捗とともに、稲作労働時間が減少！  
S45からH25の43年間で、  
ほ場整備率は 74.5%増 (6.6%→81.1%)  
稲作労働時間は 81時間減 (103hr→22hr)



# ○事業効果(2)

## 10a当たり収量の増加

○農地の排水条件を改善することにより、畑作物の収量が増加！  
※農地の排水条件の改善 = 暗渠排水の整備



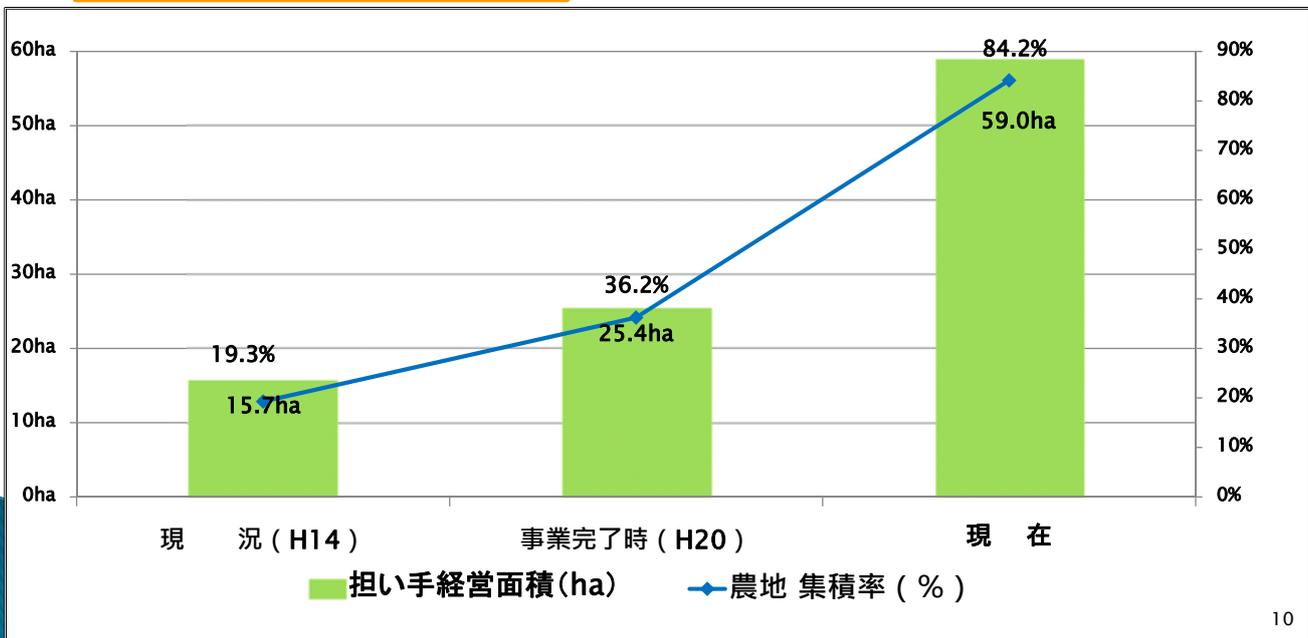
※県平均は農林水産省の統計資料(H18~26)の平均。  
※暗渠排水整備後は農地整備課調べ(H18~26)の平均。(小麦は、延べ29地区。大麦は延べ33地区。大豆は延べ56地区で調査を実施。)

# ○事業効果(3)

## 兵庫東部地区の担い手への農地集積率

○ほ場整備事業を契機に、担い手への農地集積を加速化！

※担い手農家への集積率 【H14】 19.3% → 【H26】 84.2%



## ○事業効果(4)

### 兵庫東部地区内で 公共事業用地を創設

○兵庫東部地区の区画整理において、先行的に他の公共事業用地を創設したことにより、合理的かつ経済的に他の事業者が用地を取得

#### 県道佐賀脊振線



#### かんがい排水事業 佐賀市東部地区



## ○県民の意見

- 農地の区画拡大により、作業効率が向上した。
- 農道の整備等により、大型機械の導入が可能となった。
- 用排水路の整備により、農業用水確保が容易になった。
- 上流から流れ込む排水量も増えたが、下流へ流れる排水量も増えたので、湛水時間が事業実施前より短くなった。
- 用排水路の法面浸食が進んでいるため、法面の保護対策が必要となっている。
- 農業後継者の確保に苦慮している。

(参考) 整備された農地による活発な農業生産が行われている

高い水田整備率  
全国5位(H25)

区分	水田面積(ha) ①	H26までの 整備面積(ha) ②	水田整備率(%) ③=②/①
佐賀県	43,300	35,346.5	81.6

耕地利用率(水田)  
143%  
全国1位(H25)

二条大麦 作付面積  
全国1位(H26産)

10,500ha

大豆 10a当たり収量  
全国2位(H25年産)

200kg/10a

担い手への農地集積

- ・水田における担い手への集積率 約7割
- ・集落営農組織数 491経営体(うち11経営体が法人化へ移行) (H26末)